

2007年3月期第3四半期決算における主なQ&A

Q1: 第3四半期(10-12月期)の売上高は前期比より若干増えたのに、営業損益が悪化したのはなぜか?

A1: 第3四半期の売上高は想定どおりの伸びを見せました。一方、営業損益に関しては、為替の影響や販売管理費の削減の効果があったものの、研究開発費の増加、減価償却費・リース費の増加、製品ミックスの悪化により、第2四半期と比べ損益が悪化しました。

Q2: 第4四半期で営業損益が悪化する要因は何か?

A2: 第4四半期は、半導体売上高の減少および生産調整による工場稼働の低下により、営業赤字が拡大すると想定しております。また、現在精査中である構造改革プランの内容によっては営業損失が3桁億円まで膨らむ可能性があります。

Q3: 第4四半期(1-3月期)の業績は第3四半期より悪化することだが、なぜ業績修正を行わないのか?

A3: 現在、当社では構造改革プランを策定しており、それに伴う費用を精査中であることから、業績予想を据え置くこととしました。

構造改革プランに関しては、2月22日に発表させていただく予定です。

Q4: 12月末時点の棚卸資産が9月末と比較して60億円ほど増加しているが、問題はないのか?

A4: 棚卸資産の増加は、主に欧州・米国の年末休暇の影響等の季節要因によるものです。在庫レベルとしては高いと認識しており、工場での生産調整を行い、3月末までには在庫を適正レベルまで戻す予定です。

Q5: 2月22日の構造改革プランの主な内容は?

A5: 構造改革プランの主な内容は、注力製品の明確化と製品ポートフォリオの再構築による売上拡大、および生産体制の見直しや設備投資、研究開発費等の効率化によるコスト競争力の強化です。詳細は精査中であり、22日の発表までお待ちください。